

地域と“よそ者”がトップブランドを育て、日本の林業を底上げする

・・・吉野材の再生：奈良の木プロジェクトの挑戦・・・

講師：古谷誠章^{ふるやのぶあき}氏（早稲田大学理工学術院教授）

奈良県南部の吉野地域に、500年にわたって育まれた「吉野材（杉・桧）」がある。吉野材は丈夫で見た目も美しく、国産の材木としては最高級品だ。その吉野材を支える林業や製材所などの関連産業が、近年の木造建築の減少や価格競争から瀕死の危機に直面している。「牛肉で言えば松阪牛のような、木材のトップブランドが売れなければ、日本の木材全体が沈んでしまう」。

早稲田大学古谷研究室は、2010年に奈良県から奈良の木ブランドの再生の依頼を受け、建築デザインによる吉野材の活用促進をテーマに、「奈良の木プロジェクト」に関わっている。

○ 日 時：平成29年11月20日（月）15：00～17：00

○ 場 所：永田町ビル・4階大会議室

（東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅8番出口より徒歩3分）

○ 主 催：一般社団法人 日本林業協会 （29森林・林業活性化基金事業）

○ 参加申し込み（定員：先着60名様 ～参加費無料～ ）

別紙の参加申込書を、下記あてに、E-mail 又はFAXで送付してください。

【お問合せ先】一般社団法人 日本林業協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル3F

TEL 03-3586-8430、FAX 03-3586-8434

E-mail jfa@j-forestry.or.jp

別紙

「11月20日（月） 日本林業協会 公開講座」 参加申込書

ふりがな	
氏名	
所属又は住所	
E-mail	
TEL	
FAX	

※この申込書に記載された個人情報は、「公開講座」に関するものにのみ使用します。

＜会場＞ 永田町ビル4階 大会議室



東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅8番出口より徒歩3分